

予算	款	項	目	決算書
	10	5	3	300 頁

目 名
人権同和教育費

事業名称
人権同和教育推進事業

1. 概要

目的	対 象
人権に関する正しい理解を深め、自らの問題として人権問題の解決に取り組む	市民・学校職員
<p>事業概要</p> <p>○人権同和教育講座事業 ・若い世代のリーダー育成のため、PTAを対象とした5回の連続講座及び公民館クラブ生、高齢者、女性団体、小・中学生を対象に人権講座を開催し、人権教育の推進を図った。</p> <p>○人権を学ぶ子ども会事業 ・三重東小学校、大野小学校、大野中学校で人権を学ぶ子ども会を開設し、より深く人権学習を深めるため放課後の時間帯を利用した学習に取り組み、豊肥地区解放文化祭で学習の成果を発表した。</p>	

臨／経	細事業名称	事業内容（主な経費等）	予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	諸収入	一般	
経常	人権同和教育講座事業	連続講座及び各種団体を対象に人権講座フィールドワーク 需用費	929	635			69	566	3
経常	人権を学ぶ子ども会事業	児童生徒を対象に人権を学ぶ子ども会を開設 委託料	461	461				461	3
計			1,390	1,096	0	0	69	1,027	

2. 指標設定

成果指標	指標名	人権教育の推進	目標年度	指標の設定理由				
	数値	—	H27	総合計画／後期基本計画において、基本施策(6-2-1)重点施策のため				
活動指標	指標	a	講座回数	b	参加人員	c		d
	数値	目標	—	目標	—	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
人権教育の推進		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 講座回数	回	82 回	88 回	77 回
b 参加人員	人	2,566 人	2,091 人	2,769 人
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
人権に関する関心や認識は高まっているものの、人権8課題の問題は解消されず、さらにインターネットでの差別的書き込み等新たな問題が発生している。
対応（改善点等）
各種の人権講座の開催により若い世代のリーダーを育成し、自分のこととして捉え差別解消の態度が取れる人材育成に努める。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

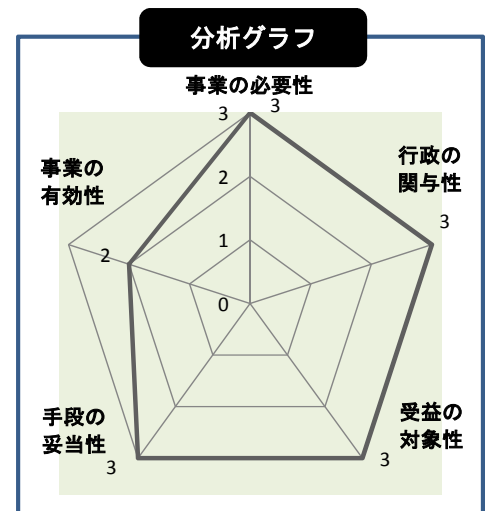
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		1,077	1,014	1,096	1,782
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	48	41	69	80
	一般財源	1,029	973	1,027	1,702
	うち経常	1,029	973	1,027	1,702
事業費に係る人件費		5,160	5,153	5,231	4,879
事業費に係る人役		1.20	1.20	1.20	1.10

6. H27年度予算の方向性

方向性
減額
理由
H26年度はフィールドワーク現地において、安全対策が必要で経費を要するが、H27年度以降は減額できる。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市民一人ひとりが尊重され生きがいを持って暮らせる環境作りのため。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 行政の責任において推進しなければならないため。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 全市民を対象としているため。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 保護者を対象とした連続講座で若い世代のリーダーの育成に努めた。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 人権を学ぶ子ども会への参加がまだ少ないため。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、課題解決のための手法を検討し事業効果を上げること。